

真庭市立勝山小学校(〒717-0007 岡山県真庭市本郷 1801) 令和4年度学校だより14号(6月3号)求人
幸せになる練習 子育ては待つ練習 夫婦は許す練習 人生は笑う練習 R3年あいさつ約75% 気持ちの良いあいさつ22.2%



勝山

R4.6.13 あいさつ 正門96.6%
バス通73.9% 気持ち良い32.9%

★勝山漢字HP掲載中★

学力▲47.8 体力●60.4%(全国平均突破率) 生活意欲●32

卒業するまでに、逆上がり、二重跳び50回以上、漢字は毎回100点をとれる子に

Tel:0867-44-3141 Fax:0867-44-3142 Mail:katsuyama_es@maniwa.gse.okayama-c.ed.jp

小学校で大切なこと

学校が好き
学び方がわかる
人とうまく関われる
コロナに勝つ!!

助けてください



急募!!

本当に大変な時代になったものです。予算があっても人がいない。子どもたちをより良くしたくても、関わるスタッフがいないのでどうにもなりません。お近くの方、知り合いの方でお手伝いいただける方がおられませんか。下記のスタッフを募集いたします。

① まにわプランスタッフ(1名)

資格：教員免許 給与については県費職員とほぼ同額
勤務時間 8:15~16:45(月~金毎日)
職務内容 教科指導(内容については要相談)
授業準備、事務、その他

② 主体的な学びの基盤作りスタッフ(1名)

資格：特になし 給与 時給1,000円
勤務時間 14:45~16:45 の内で1・2時間
勤務する曜日は相談に応じます。(週2日~)
プリント学習を中心とした放課後の補習

③ 給食受配スタッフ(1名)

資格：特になし 給与 時給904円
勤務日 不定期(当日朝急にお願いする場合があります)
勤務時間 10:00~14:00



習慣は才能を超

■6月8日(水)地震による避難訓練を実施しました。1年生教室では、子どもたちが大谷先生の話をよく聞き指示に従って机の下に潜り込んでいました。(右画像)

■左の画像は2枚とも6月6日(月)の児童朝礼で紹介されたMVP受賞者です。あいさつや歩道を渡った後のおじぎの丁寧さで3年生三村大介くん、高谷虎由くん、修学旅行での模範的行動で6年生の上田満ちるさん、森木涼翔くんがMVP受賞。

先週、「学校便りで求人」というニュースがありました。誤解防止のため、真庭市教委確認・指導の下、発行していることを申し添えます。

■問い合わせは勝山小
宇山教頭まで
(44-3141)



がんばって 今年もとろぞ

Aバッジ(5年生山本奏風)

やる気満々の川柳ですね。



魚がわきだす川⑩

川から離れます

教師人生延長戦の私の役割は「伝える」こと。ここで紹介する内容は、今では許されないこともあります。こんな経験が今の自分をつくってくれたと当時の環境(自然や濃い人間関係)に感謝しています。拙い文ですが子どもたちがより良く生きるヒントになるといいな。諸先輩方、子や孫へぜひ皆様の「昔語り」を!!

■かくれんぼ… かくれんぼ、かんけり、おにごっこ、ぼんさんがへをこいた、六むし…。これらの遊びは、すべてオニの役を一人決めなくてはならない。遊んだのは、5、6人から多くても10人くらいなので、オニ役をジャンケンで決めることもあったけれど、みんなが左手をグウにして出し、わらべ歌を歌って決めることもあった。こんな歌だった。「白豆黒豆じつとひけ、オニになってもおこらりやせんぞ。めんぼくどっこいしょ…。」オニが決まると、かくれんぼやカンけりだとすぐに隠れに行った。小学校、保育園のほか友達の家ならどこでもやったものだ。その日は、川口から診療所までの範囲でかくれんぼをすることになった。オニは、アッチャン。かくれんぼは、「もういいか、まあだだよ」の方式と「オニが100数える」方式の二つがあったが、この日は100数え方式だった。僕は、ヒロちゃんといっしょに納屋の中にかくれた。しばらくは声をひそめていたけれど、じっと我慢ができず納屋にある稲ワラで遊んでしまった。納屋の中二階からワラの上に飛び降りたり、ワラの中に入ったり夢中になって遊んでいた。すると、アッチャンの声が聞こえた。「あっ、この中におるじゃろ」ヒロちゃんと僕は、稲ワラの中に入らずもれたまま息を殺した。僕たちからオニは見えないけれどすぐそばにいるのは分かっている。背中や顔がちくちくする。僕が隠れている稲ワラにふれたので、もうだめかと思っていたがしばらくして、オニは立ち去っていった。ヒロちゃんとひそひそ話をしながらオニがいなくなったのを確かめると、ワラからやっと出ることができた。体じゅうがかゆい。ヒロちゃんと僕は次に鶏小屋に入った。この頃、旦那土をはじめ津田地区では養鶏が盛んだった。農家でもない僕の家でも500羽のニワトリがいた。多いところは、2万羽も飼っている家があった。ヒロちゃんの家も僕の家と同じぐらいのニワトリがいた。ニワトリたちもなれたもので、僕たちが急にやってきても全く動じない。ヒロちゃんは、卵を2つ取ると、1つを僕に渡してくれた。その後、あたりを警戒しながら台所に逃げ込んだ。卵のてっぺんに穴を開け、そこからしょうゆを少しだけたらしワリバシでかきまぜる。しょうゆ味の生卵をごくりと飲みこし、お互いに力こぶをつくってポーズをとる。当時、テレビで放送していたポパイのまねだ。ハウレンソウの代わりに生卵で元気を出したということだ。かくれんぼの最中なのに、おおらかなものだ。こんなおんきなかくれんぼだが、時にはいつまでも見つけることができず遊び飽きたり、オニが音を上げたりすることもあった。そんな時には、「ミソ」と大声で叫んだ。どうしてミソなのか理由はわからないが、それを聞くとみんなオニのところに集まることになっていた。 つづく…次回は「ウサギ捕り」



未来が見えた…

■上のランドセルの写真は誰もいない2年生の教室で撮りました。41人すべての子が先生の指示に従い、帰る準備をして5時間目を迎えたのでしょう。ランドセルや道具がきちんとそろえて置いてありました。中でも特に丁寧に置いていた2人。普段の生活態度も想像できるようです。物や道具の扱いに人柄が出ます。これも習慣で身につくのですね。■3年生の植田遙希くんは運動神経抜群。そんな彼が密かに挑戦していたことがありました。逆上がりです。努力に努力を重ねてできるようになり今は自信满满。■3年生の学級便りに「未来が見えた」という但馬青弥くんのつぶやきが紹介してありました。逆上がりの練習をしていたとき、水島伊織くんが上手にできた様子を見て「先生！ぼく、未来が見えた！ぼく、前は逆上がりの練習すごいやだったんだけど、今はめっちゃ楽しいんですよ！」とつぶやいたそうです。未来が見えた子は未来のより良い姿をめざして自主的かつ確実に努力を積み重ねるようになります。子どもたちにこんな気づきを与えられる先生の力は尊敬に値します。同じように指導していても同じ結果は出ませんが、子どもたちの成長を信じ切り繰り返し指導を重ねます。最後まで読んでいただきありがとうございます。

